

事業報告

I 法人の概況

1 設立年月日

平成8年3月22日

2 定款に定める目的

本公益財団法人は、東北地方に研究開発と産業開発の国際拠点を形成し、未来型産業社会を創造することを目標とした東北インテリジェント・コスモス構想に呼応し、自然科学研究に対する助成等を行い、もって学術の振興と地域の発展に寄与することを目的としています。

3 定款に定める事業内容

- (1)自然科学研究に対する助成
- (2)国際的研究交流に対する助成
- (3)その他この法人の目的を達成するために必要な事業

4 監督機関に関する事項

内閣府公益認定等委員会

5 会員の状況

種類	当期末	前期末比増減
賛助会員	10名	-1名

6 主たる事務所の状況

主たる事務所：宮城県仙台市青葉区南吉成六丁目6-3 ICRビル3階

7 役員等に関する事項

理事・監事

役職	氏名	常勤・非常勤 の別	担当業務・現職
理事長	沢田 康次	非常勤	東北大学名誉教授
常務理事	齋藤 茂	常勤	事務統括
理事	植木 俊哉	非常勤	東北大学理事
理事	大滝 精一	非常勤	東北大学大学院経済学研究科 教授
理事	下井田 幸喜	非常勤	青森県商工労働部 新産業創造課長
理事	大庭 豪樹	非常勤	宮城県経済商工観光部 新産業振興課長
理事	白岩 靖史	非常勤	仙台市経済局産業振興課長
理事	真壁 善男	非常勤	秋田県あきた未来創造部 あきた未来戦略課長
理事	和久津 英志	非常勤	新潟県産業労働観光部産業振興 課長
理事	西山 英作	非常勤	(一社) 東北経済連合会産業経済 部長
監事	高橋 亨	非常勤	(株)インテリジェント・コスモス研究 機構 常勤監査役
監事	今野 薫	非常勤	東北六県商工会議所連合会常任 幹事

評議員

役職	氏名	常勤・非常勤 の別	担当業務・現職
評議員	尾坂 芳夫	非常勤	東北大学名誉教授
評議員	村岡 幹夫	非常勤	秋田大学大学院理工学研究科長
評議員	飯塚 博	非常勤	山形大学大学院理工学研究科長
評議員	滝澤 博胤	非常勤	東北大学大学院工学研究科長
評議員	福村 裕史	非常勤	仙台高等専門学校長
評議員	出村 克宣	非常勤	日本大学工学部長
評議員	鎌土 重晴	非常勤	長岡技術科学大学副学長
評議員	松本 哲	非常勤	岩手県政策地域部科学 I L C 推 進室科学技術担当課長
評議員	吉田 祐幸	非常勤	宮城県経済商工観光部長
評議員	石川 浩史	非常勤	仙台市経済局長
評議員	佐藤 泰幸	非常勤	山形県商工労働観光部 工業戦略技術振興課 科学技術政策主幹
評議員	吉田 和史	非常勤	福島県商工労働部産業創出課長
評議員	齋藤 幹治	非常勤	(一社)東北経済連合会常務理事 事務局長

8 職員に関する事項

平成 29 年度末現在

職員数		前期末 比較数	平均年齢	平均勤続年数
男子 (常務理事が兼務する 事務局長)	1 名	0	67 歳 3 か月	7 年 0 月

9 許認可に関する事項

平成 20 年 12 月に施行された公益法人制度改革により、平成 25 年 3 月に内閣総理大臣から公益財団法人として認定され、平成 25 年 4 月 1 日に公益財団法人インテリジェント・コスモス学術振興財団として登記を行いました。

II 事業の状況

1 事業の実施状況

平成 29 年度は、東北インテリジェント・コスモス構想の下に、東北地域の自然科学研究に対する助成、国際的研究交流に対する助成事業を実施するとともに、研究報告書評価委員会において平成 28 年度助成事業の研究実績評価を行い、有望シーズの発掘を目的として継続助成を実施しました。

さらに、助成事業のより一層の有意義化を図るため、奨励賞受賞者アンケートを実施しました。

また、財団ホームページの内容拡充を図ることにより、公益法人としての責務である国民・社会への情報開示を推進するとともに、「財団ニュース」を定期的に発行し、東北地域の主な研究機関及び関係する県・市に送付することにより、本財団の活動状況の浸透に努めました。

(1) 自然科学研究に対する助成事業（定款第 4 条第 1 号）

① インテリジェント・コスモス奨励賞への助成（@20 万円×10 テーマ）

東北 7 県の大学等の研究機関に所属している 40 歳(医歯薬系は 42 歳)以下の若手研究者を対象に、独創的研究開発の種(シーズ)を発掘するとともに、東北地域の活性化・発展に寄与するような研究を支援するため、下記 10 テーマに対して「インテリジェント・コスモス奨励賞」を授与し、併せて研究助成金を交付しました。

大学等名	学部等名	職名	氏名	研究テーマ
東北大学	金属材料研究所	准教授	関 剛斎	規則合金における磁気ダイナミクスの制御とセンサ応用への展開
東北大学	大学院理学研究科物理学専攻	准教授	松原 正和	新規光機能を有する人工マルチフェロイック物質の開発
鶴岡工業高等専門学校	創造工学科化学・生物コース	准教授	上條 利夫	実用化を目指した超低摩擦摺動システムの開発
長岡技術科学大学	産学融合トップランナー融合センター	産学融合特任准教授	多賀谷 基博	がん細胞を高感度・安全に可視化・治療する有機-無機協奏機能ナノ結晶の創製
東北大学	大学院工学研究科金属フロンティア工学専攻	准教授	大森 俊洋	超弾性合金の合金設計とミクロ組織制御に関する研究
福島工業高等専門学校	物質工学科	准教授	尾形 慎	インフルエンザウイルスの種間伝達の解明を可能にするシアロ糖鎖ポリペプチドの開発
仙台高等専門学校	電気システム工学科	准教授	佐藤 拓	体内植え込み機器用ワイヤレス充電システムの開発
岩手医科大学	医学部統合基礎講座 解剖学講座 細胞生物学分野	助教	横山 拓矢	頸動脈小体のグルタミン酸による低酸素応答調節機構の解明
松本歯科大学	歯学部	講師	三好 智博	新たな遺伝子解析技術「RNA-guided DNA silencing」の実用化に向けて
東北大学	大学院薬学研究科がん化学療法薬学分野	助教	塚本 宏樹	Toll様受容体4刺激抗体によるアレルギー疾患の新規治療戦略

② 実用化研究への助成（@50万円×2テーマ）

東北地域における新産業創出の推進を図るため、平成28年度に行ったインテリジェント・コスモス奨励賞受賞者の研究実績報告書に基づき、実用化・事業化の観点から新事業創出の可能性があると認められる等の評価・調査を行い、評価が高いものに対し継続して助成を行いました。

大学等名	学部等名	職名	氏名	研究テーマ
東北大学	大学院工学研究科	准教授	高橋 和貴	磁気ノズルヘリコンプラズマ宇宙推進機の学理と開発
東北大学	大学院医学系研究科	准教授	風間 逸郎	慢性炎症性疾患におけるリンパ球K ⁺ チャネル（Kv1.3）の病的・治療的意義について

(2) 国際的研究交流に対する助成事業（定款第4条第2号）

国際学会への助成（@10万円×4件）

国際的研究交流を東北地域全域において促進し、科学技術の発展と独創的学問の進歩向上に資するため、東北地域における各種国際会議5テーマに対して助成を決定しましたが、開催を予定していた国際学会が諸般の事情により中止となったため、助成件数が1件減少しました。

催事名	開催大学・実行委員会等 開催責任者(代表者)	開催期間
International Workshop on Wind-Related Disasters and Mitigation (風関連災害国際ワークショップ)	一般社団法人 日本風工学会 東北大学大学院工学研究科 都市・建築学専攻 教授・植松 康	平成30年3月11日(日) ～ 平成30年3月14日(水)
第5回大連理工大学・東北大学化学系 ジョイントシンポジウム	第5回大連理工大学・東北大学化学系 ジョイントシンポジウム実行委員会 実行委員長 山口雅彦 (東北大学大学院薬学研究科・教授)	平成29年 9月24日(日) ～ 平成29年 9月27日(水)

<p>Fourteenth International Conference on Flow Dynamics</p>	<p>東北大学 流体科学研究所 ICFD 実行委員会 東北大学流体科学研究所 所長 大林 茂 教授 伊藤 高敏</p>	<p>平成29年11月1日(水) ～ 平成29年11月3日(金)</p>
<p>第8回 ISHS 国際アウトウシンポジウム</p>	<p>第8回国際アウトウシンポジウム実行委員会 国際園芸学会(ISHS)ならびに第8回国際アウトウシンポジウム実行委員会(委員長 山形大学学術研究院・教授・平 智)</p>	<p>平成29年 6月 5日(月) ～ 平成29年 6月 9日(金)</p>

(3) その他の事業(定款第4条第3号)

ホームページ等の充実

財団の活動状況を広報し、事業活動の充実をしていくため、財団ホームページの充実を図り、公益法人としての責務である国民・社会への情報開示を推進しました。

また、「財団ニュース」を発行し、東北地域の主な研究機関及び関係する県・市に送付することにより、本財団の活動状況の浸透に努めました。

2 重要な契約に関する事項

該当なし

3 役員会等に関する事項

(1) 理事会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
<p>第1回理事会 平成29年5月15日</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成28年度事業報告（案）について 2 平成28年度収入・支出決算報告（案）について 3 平成28年度監事監査について 4 理事長及び常務理事の職務執行状況について 5 理事選任候補者について 6 評議員会の招集について 	<p>原案どおり承認</p> <p>原案どおり承認 （報告事項） （報告事項） （報告事項）</p> <p>原案どおり承認</p>
<p>決議の省略による 理事会 決議があったものとみなされた日 平成29年6月22日</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 代表理事・業務執行理事の選定について 	<p>原案どおり承認</p>
<p>決議の省略による 理事会 決議があったものとみなされた日 平成29年10月27日</p>	<p>決議の省略による評議員会の招集について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 理事・監事の選任について 	<p>原案どおり承認</p>
<p>第2回理事会 平成30年3月15日</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 インテリジェント・コスモス奨励賞等の選考について 2 平成29年度事業執行状況について 3 平成29年度予算執行状況について 4 理事長及び常務理事の職務執行状況について 5 平成30年度事業計画（案）について 6 平成30年度収支予算（案）について 7 選考委員会委員の選任について 	<p>（報告事項） （報告事項） （報告事項） （報告事項）</p> <p>原案どおり承認 原案どおり承認 原案どおり承認</p>

(2) 評議員会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
決議・報告の省略による 評議員会 決議・報告があったもの とみなされた日 平成 29 年 6 月 13 日	1 平成 28 年度事業報告（案）について 2 平成 28 年度収入・支出決算報告（案）について 3 賛助会員規程及び旅費支給規則の一部改正について 4 理事の選任について 5 評議員の選任について （報告事項） 1 平成 29 年度事業計画書について 2 平成 29 年度収支予算書について	原案どおり承認 原案どおり承認 原案どおり承認 原案どおり承認 原案どおり承認
決議の省略による 評議員会 決議があったものと みなされた日 平成 29 年 12 月 5 日	1 理事・監事の選任について	原案どおり承認

(3) 選考委員会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
第 1 回選考委員会 平成 29 年 6 月 29 日	報告事項 1 平成 29 年度助成事業について 2 第 16 回インテリジェント・コスモス奨励賞授与式について 協議事項 1 第 17 回インテリジェント・コスモス奨励賞推薦要項等について	原案どおり承認
第 2 回選考委員会 平成 29 年 11 月 27 日	1 選 考 (1) インテリジェント・コスモス奨励賞についての選考 (2) 実用化研究助成についての選考 2 協 議 (1) 国際学会への助成応募要項（案）について (2) 選考委員候補者の選任について	10 件を選考 2 件を選考 原案どおり承認 原案どおり承認

<p>第3回選考委員会 平成30年2月19日</p>	<p>1 選考 (1) 国際的研究交流に対する助成事業 国際学会助成の選考について</p> <p>2 協議 (1) 平成30年度助成事業について (2) 第17回インテリジェント・コスモス奨励賞授 与式等について</p>	<p>5件を選考</p> <p>前年度の事業継続を了承</p> <p>授与式を平成30年5月14日 11:30~13:00 ホテル・メトロポリタン仙台 で実施する事務局案を了承</p>
--------------------------------	--	--

(4) 研究報告書評価委員会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
<p>研究報告書評価委員会 平成29年8月22日</p>	<p>1 研究報告書の評価及び実用化研究助成候補者の 選考について</p>	<p>実用化研究助成 候補者2名を選考</p>

4 正味財産増減の状況及び財産の状況

単位：千円

	平成26年 3月期	平成27年 3月期	平成28年 3月期	平成29年 3月期	平成30年 3月期
経常収益合計	8,835	8,785	8,685	8,684	8,684
経常費用合計	8,793	8,610	9,355	8,520	8,688
当期正味財産増減額	42	175	-670	164	-4
資産合計	454,714	454,889	454,219	454,383	454,379
負債合計	0	0	0	0	0
正味財産	454,714	454,889	454,219	454,383	454,379

Ⅲ 法人の課題

法人会計のスリム化等により財団運営資金を確保すること。

Ⅳ 理事の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

現行の、監事による監査体制を継続実施すること。

Ⅴ 株式保有している場合の概要

該当なし